

ねぎほ場で、シロイチモジヨトウの寄生が平年より早く確認され、今後の被害拡大が懸念されます。

・作物名：ねぎ
・病害虫名：シロイチモジヨトウ
・対象地域：県内全域
・予想発生量：多

巡回調査：6月23～25日

天候予報：仙台管区气象台6月26日発表

1 予報の根拠

- (1) 6月下旬の巡回調査の結果、シロイチモジヨトウの発生地点率が37.5%となった(図1)。(/ +)
- (2) 平年(平成28年～令和6年の9か年)の調査結果と比較して最も早い寄生の確認となった。なお、平年の中で最も早い寄生の確認は、令和5年及び令和6年の7月下旬だった(図1)。(- /)
- (3) 過去の調査結果で発生地点率が3割を超えたのは8月中旬以降であり、6月下旬に広域で被害が確認されたのは今年度が初めてとなった(図1)。(- / +)
- (4) 3地点すべてで若齢幼虫が確認され、一部のほ場では老齢幼虫も確認された(写真1)。(- / +)。
- (5) 高温少雨が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高く(/ +)、降水量は平年並かやや少ないと予報されている。(/ ± ~ +)

※ 予報の根拠 (発生時期 / 発生量)

発生時期…(+):遅くなる要因 (±):平年並になる要因 (-):早くなる要因 (空欄):該当せず
発生量…(+):多くなる要因 (±):平年並になる要因 (-):少なくなる要因 (空欄):該当せず

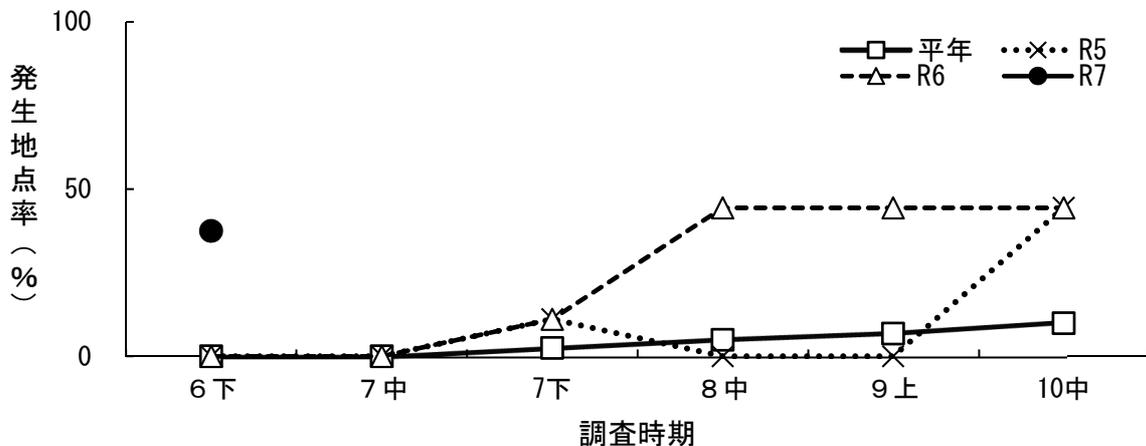


図1 ねぎのシロイチモジヨトウの発生地点率の推移
(「平年」はH28～R6の9か年平均)

2 防除のポイント

- (1) 多くの植物を餌にする広食性害虫であり、野菜、花き等の多くの作物を加害する。
- (2) 近年、薬剤に対する抵抗性が発達しているとされるため、若齢幼虫期に薬剤防除を実施する。
- (3) シロイチモジヨトウは、幼虫がねぎの葉身内へ食入して薬剤がかかりにくくなるため、被害を確認したら直ちに防除を実施する。また、中齢幼虫期以降になると薬剤が効きにくくなるため、若齢幼虫期のうちに薬剤散布を行うよう努める。
- (4) シロイチモジヨトウは、年間4～5世代程度発生する。
- (5) 10月までほ場への飛来が続くことが予想されるため、こまめにほ場を見回り早期発見に努め、適宜薬剤防除を行う。
- (6) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、RACコードが同じ薬剤の連続散布を避ける。



写真1 ねぎに寄生していた
シロイチモジヨトウ老齢幼虫



写真2 シロイチモジヨトウによる
ねぎの被害葉(赤で囲んだ部分)



写真3 ねぎ葉身内部にある
シロイチモジヨトウ幼虫の虫糞

農薬危害防止運動実施中！

宮城県では、6月1日から8月31日を農薬危害防止運動実施期間と定め、農薬の安全・適正使用を推進しています。農薬による事故を未然に防ぎ、消費者の皆さんに安全・安心な農作物を届けるため、農薬は適正に使用しましょう。

1. 農薬容器のラベルをよく読みましょう
2. 土壌くん蒸剤を使用した後の適切な管理をしましょう
3. 住宅地等で農薬を使用する際には、周辺への配慮及び飛散防止対策をしましょう
4. 農薬の保管管理を徹底しましょう



農薬危害防止運動
リーフレット

《お問い合わせ先》

宮城県病害虫防除所

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17

TEL:022-275-8982 FAX:022-276-0429

E-mail:byogai@pref.miyagi.lg.jp

★宮城県病害虫防除所から『メルマガ』で
発生予察情報の発表をお知らせしています★



宮城県病害虫防除所
トップページ



メルマガ
登録フォーム